１年次

東京学芸大学竹早地区附属学校園公開研究会

自分や集団の願いに基づいた主体性を発揮できる子ども／学校

未来の学校
みんなで創ろう。
PROJECT






２０２７年１月２３日(土)

公開枠Ⅰ	公開枠Ⅱ	協議/発表①	昼休み	公開枠Ⅲ	協議/発表②
9:00～	10:05～	11:10～	12:30～	13:40～	14:45～16:25

公開研究会専用 WEB サイト

追加の情報は公開研究会専用 WEB サイトにて随時更新していきます。

https://sites.google.com/view/mirainotakehaya2026/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0

事前申込制・資料代　一般２０００円・学生１０００円

本研究会は，教育関係者のみを対象としております。一般の方のご参加はお断りしております。ご了承ください。

東京学芸大学竹早地区附属学校園　〒112-0002　東京都文京区小石川 4-2-1

TEL 03(3816)8943（幼小）　03(3816)8603（中）　FAX 03(3816)8605（代表）

自ら判断する子どもと学校の創造へ

本地区では、1986 年以来の竹早地区幼小中連携教育研究の歴史を生かし、これまで7年間にわたり東京学芸大学、企業、教育委員会等と連携して、「未来の学校　みんなで創ろう。PROJECT」を推進してまいりました。これまでの成果を踏まえ、今年度は研究主題を「自分や集団の願いに基づいた主体性を発揮できる子ども／学校」とし、改めて竹早地区として目指す子ども像を共有し、その実現に向けた教育の在り方を探究しております。

また、今年度は固定的な分科会を設けるのではなく、教師一人一人の問題意識から研究を立ち上げる組織としました。「研究・対話の時間」を通して互いの問いを共有し、校種や教科の枠を越え、企業・大学等ともつながりながら研究を進めております。その結果、研究グループのテーマや構成も多岐にわたっております。こうした組織づくりも、教師自身が願いをもち、自らの意思・判断で研究に取り組むことを大切にした試みです。子どもの学びと教師の研究が共に「願い」を起点として他者とつながり、新たなものを創り出す学校の在り方を、全国の教育関係者の皆様と共に考えてまいりたいと存じます。

東京学芸大学竹早地区附属学校園 園舎長・小学校校長 椿 真智子

中学校校長 岩田 康之

公開授業・研究発表一覧

公開枠Ⅰ	公開枠Ⅱ	協議/発表①	昼休み	公開枠Ⅲ	協議/発表②
9:00～	10:05～	11:10～	12:30～	13:40～	14:45～16:25

研究グループ	学年・教科	活動（単元）名または発表タイトル	授業／発表	協議会	授業者・提案者	研究協力者
幼児とともに活動することで生まれる学び	中2理科・家庭科	幼児と学ぶ －おまつりプロジェクトー	Ⅱ	①	廣瀬雄二郎	原口るみ 准教授
竹早の１１年間の学び・個と集団の学びとは	幼稚園	友達と一緒に工夫しながら遊びを進める	Ⅰ	②	阿部かほり	中西 史 准教授
	小１生活	知る→やる→調べる 「科学」のめばえ	Ⅲ		窪田美紀	
	小4音楽	竹早サンバカーニバル!	Ⅱ①	①	大内絵理香	徳富健治 准教授
	中１音楽		Ⅱ①		中野未穂	
教材開発・アプリ開発・外部人材活用	小5社会	米づくりの１年	Ⅰ	①	上野敬弘	川﨑誠司 教授
	中１国語（書写）	筆使いと字形の整え方から捉える書写学習ー漢字と仮名の関係性ー	Ⅲ	②	林 美月	加藤泰弘 教授
	中2英語	What are World Heritage sites and their problems?	Ⅰ	①	松津英恵	馬場哲生 教授
教材開発企業との連携実践	小5算数	データを使って速さを考える（仮）	Ⅱ	①	倉次麻衣	中村光一 教授
	小6算数	比例	Ⅰ		平山秀人	
	中2数学	自由落下の測定を通して，事象から $y=ax^2$ の関数関係を見いだす授業	Ⅲ	②	後藤藍輝	
	小6理科	どんなグラフになるのかな	Ⅱ	①	金田知之	渡辺理文 准教授
	中１理科	光とものの見え方	Ⅰ		金子真也	
ＡＩクラスメイトと授業	小2国語	ほんとうの人をえがく ―ノンフィクションを読んで、伝え方を考えよう―	Ⅱ	①	曽根朋之	茅野政徳 教授
	小5情報	子どもたちとデザインする AI クラスメイト	Ⅲ	②	中村亮太	なし
	小6道徳・算数	筋道を立てることについて	Ⅰ	①	山田剛史	荻上健太郎 教授
生成 AI と個別最適な学び	中１英語	My Winter Vacation －冬休みのできごと－	Ⅲ	②	中川千香子	馬場哲生 教授
ヘルスニューメラシー	小6保健	病気の予防～ヘルスニューメラシー～	Ⅱ	①	田岡朋子	三好知美 助教
教科の本質に通底するものとは？	小2図工	学びとしての造形遊び	Ⅲ	②	桐山卓也	小林貴史 教授
	小3社会	町の移り変わり	Ⅱ	①	恒川徹	椿真智子 教授
	小4国語	笑いを生み出す表現のひみつ!私たちのお笑い研究所	Ⅰ	①	髙須みどり	藤森裕治 教授
	中 Ⅰ 技術	材料と加工の技術における「技術の見方・考え方」の体得に向けて	Ⅲ	②	岡崎 靖	大谷 忠 教授
9年間を見通した体育学習	小１体育	走の運動遊び	Ⅰ	①	早川光洋	森田哲史 准教授
	小4体育	セストボール	Ⅲ	②	原田雄太	鈴木 聡 教授
	中2体育	体育理論～スポーツって何!?～	Ⅱ	①	齋藤貴博	須甲理生 准教授
データ利活用・環境	中2社会	移民からみる日本と世界（分野統合実践試案）	Ⅲ	②	中山南斗	椿真智子 教授
	研究発表	メディアセンターを学びの場としてデザインすることの効果を考える	Ⅲ	②	荻野 聡	山田 猛 教授
	研究発表（美術）	学びの空間をデザインすることで見えてくるもの			杉坂洋嗣	
授業研究・教員養成	研究発表	オンラインプラットフォームを活用した授業研究	②		上園悦史 金子真也	金子嘉宏 教授 遠藤太一郎 教授